

春爛漫

たいおきんざん

2025

3月22日(土)~4月6日(日)

わさびまつり

奥日田・中津江・鯛生金山の春は採れたてわさび尽くし

・わさびテイクアウトメニュー(わさびサンド、わさび葉すし)

※週末・数量限定

・わさびソフトクリーム・花わさび・わさび商品いろいろ



わさび葉すし(イメージ)



わさびソフトクリーム



近代化産業遺産

平成19年度 経済産業省



鯛生金山

TAIO GOLD MINE 地産博物館 道の駅 家族旅行村

〒8770302

大分県日田市中津江村合瀬3750

0973-56-5316



『近代化産業遺産』とは

明治から戦前にかけて日本の産業の近代化に貢献した建造物や機械などを、経済産業省が認定している文化遺産。金山としては日本に二箇所しかない佐渡・鯛生両鉱山が近代技術による増産を達成し、我が国の近代化に貢献した歩みを物語る近代化産業遺産群(分類・19)に2007年(平成19年)に認定されました。



精錬所 外部



坑内 竖坑巻上げ機



精錬所内部

鯛生金山物語 XVII (鯛生金山と文化交流)

山口青邨(やまぐちせいそん)氏と俳句

山口青邨氏は、本名を山口吉郎といい、明治25年5月10日岩手県盛岡市に生まれる。大正5年東京帝国大学工科卒業後、古河鉱業足尾銅山入社。農商務省技師として鉱山局勤務。昭和10年東大助教授。昭和14年教授をへて昭和28年名誉教授の照合受領。此の間昭和6年欧米留学、工学博士受領。俳句歴は大正11年高浜虚子氏に師事、同12年東大俳句会草樹会、昭和4年ホトトギス同人、戦後会長、読売、毎日各新聞俳壇選者、36年俳人協会創立顧問となる。昭和33年鯛生金山に技術顧問として来山して句を詠む。昭和58年4月地産博物館鯛生金山のオープンに伴い、4月13日山口青邨先生句碑除幕式が行われた。

「 藪の梅雪の如くに鉱山(やま)の道 」

除幕式に寄せて次のような挨拶文が送られている。
昭和33年早春、私は鯛生金山の視察を致しました。
その途中八女、黒木を経て矢部という所にさしかかりました。
そのあたり奇巖怪石、藪には梅が咲いておりました。
雪のように真白、心にとまりました。そしてこの句ができました。
句碑は旧金山資料館前に建っています。



山口青邨句碑



砂金採り体験



坑内見学



天然石つめ放題



ケビンで宿泊



金粉入りソフトクリーム
あなたの愛スにおぼれ鯛



銭洗い祈願



キャンプ



金山土産



山菜うどん・そば

スタッフ募集中!

東洋一の黄金郷といわれた鯛生金山で是非いっしょに働きませんか

詳しくはお電話ください。

0973-56-5316

担当山口